

高宮祭場（下高宮祭祀遺跡）

辺津宮本殿の右側の長い階段は、森林が開けた場所にある高宮祭場に繋がっています。宗像三女神が天から最初に降臨したとされる祭場です。小石で覆われた大きな正方形の平らな地面で、巨石が礼拝空間を作り出しています。両側から伸びる木の枝が重なり合い、自然なアーチ型の屋根を形成しています。6世紀の仏教伝来以前は、このような簡単な野外礼拝所が一般的でした。この場所や沖ノ島や大島では千年以上も前から神聖な儀式が行われてきました。10月の秋季大祭の最終日には、巫女による神楽などの儀式を見ることができます。